

99

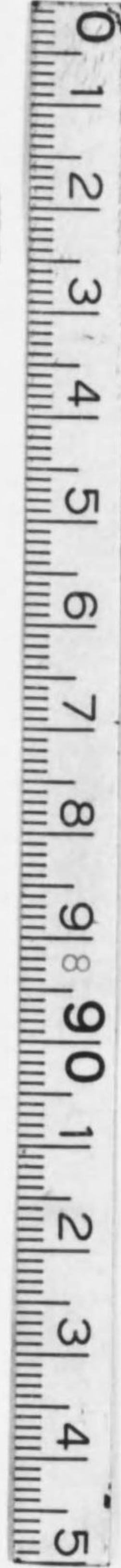
特 241

3

非 賣 品

北支資源開發に就て

日本政治問題研究所



始



特241  
3

### 北支の重要な物的資源

石炭石油及鐵

北支概観

北支とは吾人が即ち其位置の上から名付けたもので必しも確然としたものではないので我々が習慣的に呼んで居るので所謂有名な黄河流域を中心としたる南北に跨る地方で支那東部北部に位する地域の總稱である即ち河北省山東省山西省綏遠省察哈爾省の五省を指して我々は北支と稱して居るのであるが必ずしも五省と限定する必要はないので揚子江以北の地域八省を擧げて北支那と總稱しても一向差支は無いのである併し今日までの通念によつて前述の五省を北支として考へようと思ふが將來は尙河南省や陝西省や甘肅省をも加へて北支八省として考へて見たならば地勢上より觀ても又交通上からも都合がよいように思はれる要するに北支を五省とするも八省と見るのも我々の考へ方で何れとも差支はないのである

地勢

北支に於ける地勢氣候風土等はどうな状態であるかと云ふに察哈爾綏遠の兩省は所謂内蒙で其西北境はゴミの砂漠を隔て外蒙に接し山嶽地帯が多く平地と云つても高原である尙山西省は山地多く爲に高原をなして居るが河北省山東省の大部分は河川に富んだ平野であつて海灣及黄海に臨み従つて之れ等に注ぐ河流が多く著名な黄河の如き大河及天津を経て太沽で海に注ぐ白河其他熱河を連絡する樂河である従つて河北山東の農産物に當める大沃野が之等の流域に亘々として續いて居る思へば支那の歴史は權力の争奪戦を繰返せる者であつて所謂中原に鹿を逐ふ所以であつたが中原とは實に此河北及山東地方から南方に展開せる大平野を云ふた者に外ならぬ

氣候と風土

氣候に就ては地勢が前述の様な状態であるから中々一様ではなく一般的に云ふ時は北支の氣候は大體に於て温和であるが大陸的であつて冬から春にかけては雨量少く空氣乾燥し特に河北より山東に跨る黄河流域は一面の黄土層なる上に地表濕潤を缺き勝であるから烈風一度到れば忽ち黄塵萬丈となつて土砂が舞ひ上るのであるが六月から八月頃迄は降雨期で特に平原や平野地方に雨量が多く従



つて處々に汎濫を見るのであるそれから大陸的氣候の特徴として寒暑の差が甚だしく夏は暑さ酷しく冬は寒さか巖しい自然寒さの來るのが早く各河川は十一月中旬から結氷して翌年の三月になつて融解し始めるのである併し平均温度から云へば察哈爾綏遠及山西等の地方は攝氏五度位であるから我國に比すれば北海道の北部地方に比することが出來ようし河北山東地方は平均温度攝氏十二三度位であるから我國の福島から仙台邊に相當して居るのである併し夏季の温度は頗る高く短期間ではあるが日中百二十度位まで昇るのであるそれであるのに寒氣の襲來するものが比較的早く九月中旬になると察哈爾綏遠地方では既に屢々降雪を見る特に寒冷を催すのであるが北支は一體に冬季降雪を見特に山東省海岸地方には多いが推積量は少いのが普通である

面積

支那に關する統計的の事は確實を期し難いのであるが北支五省の總面積は百萬餘方軒で之れを大さに従つて擧げて見れば次の通りである

省別	單位「方キロメートル」
綏遠省	三〇四、五二〇
察哈爾省	二五八、八一五
山西省	一六一、八四二
山東省	一五三、七一
河北省	一四〇、五二六
合計	一〇一九、四一四

人口

支那の人口にはやはり正確な者がないのみならず其男女別の數などは到底之れを知るに由なしであるか其總人口は今日四億三千萬を算して所謂支那本部が其大部を占め就中北支の山東省や河北省は人口が稠密の方である今北支五省の人口を列擧して見ると大要次の通りであるが尙同時に一方軒の人口密度を併せて示して見る

省別	人口	人口密度
河北省	二九、〇〇〇	二〇六、三

山東省	三八、〇〇〇	二四〇、七
山西省	一一、〇〇〇	七四、一
察哈爾省	二、〇〇〇	七、七
綏遠省	二、一〇〇	六、八
合計	八三一、〇〇〇	

以上に就て見るに山東省河北省は人口の密度の高きこと我國の内地人口以上であつて土地肥沃頗る物産に富める地方である

都市

支那人は集團的生活を好む民族性があるので従つて支那各地方には相當人口の多い都市が散在して居るが今北支五省に於ける著名なる都市を擧げると次の様なものである

省別	省城	著名都市
河北省	保定	北京、天津、大沽、奉皇島、大名
山東省	濟南	青島、芝罘、龍口、濟寧、濰清
山西省	太原	大同
綏遠省	歸綏	平地泉、包頭、豐鎮
察哈爾省	張家口、宣化、張北、多倫	

交通運輸

支那大陸は一般的には未だ交通極めて不便と云ふ可きであるが昔から南船北馬と云ふ言葉が使用される通り之れは支那から出たもので文字通り現今の支那東部に於て中南部の方面は舟運の便が盛であるに反し北支方面に於て舟運として重なるものは熱河と渤海灣を連絡する遼河及彼の天津を経て塘沽を西岸に臨んで渤海灣に注ぐ白河並に會て漢民族の一大偉業として輝ける北方天津と南方杭州とを通ずる大運河だけである其他は川幅はあつても水深がない小舟の往來する地方河川に過ぎないのであつて彼の全長四千百キロの大なる黄河が其流域兩岩黄土層で斷壁をなし河流に急端や險所が多く爲に各支流や下流僅かの部分以外船舶の航行に適さないのは遺憾なものであるのみならず何れの河川も冬季は結氷して舟行の便はなくなるそれで河北省山東省の如き平野地方は道路が割合に

發達して自動車の發展は目覺しく主要都市間には何れも乗合自動車を通じて居つて日本人經營の路線も二三ある程で河北省には二百台のバスが動いて居り其外に北京だけで約二百台のバスと約千七百の乗合自動車約百台のトラックが動いて居るのである

次に鐵道に就て見るに次の如く本線以外に石炭や鹽其他の輸送を目的とした支線が何れにも澤山ある

- 北寧鐵道 (北京—山海關間四百二十二軒) 外に平通支線、西活支線北戴支線あり
- 津浦鐵道 (奉天—浦々面、全長千九百九十九軒) 外に支線二、三あり
- 京漢鐵道 (北京—漢口間全長千二百十軒) 外に豐台支線里支線、關口支線、高良支線其他二三あり
- 京綏鐵道 (北京—包頭間全長八百七十七軒) 外に石炭輸送用其他支線あり
- 膠濟鐵道 (青島—濟南間三百九十五軒) 外に石炭輸送用の支線あり
- 正太鐵道 (石家莊—太原間二百四十二軒) 外に南風支線あり
- 同蒲鐵道 (大同—蒲州間全長六百二十九軒) 但中間に未開通の所がある

之等の鐵道は何れも支那が外國の借款に依つて建設した者であつて英、日、獨、佛、ベルギー等の資本が入つて居るのであるが就中英國と日本との資金が最多額を占めて居るのである尙未成線として京綏線の延長で包頭と寧夏間の包頭鐵道綏遠の歸綏と山西省に於ける同蒲線の朔州間なる朝綏鐵道河北省に於ける天津と石家莊間の津石鐵道津浦線の滄州と石家莊間の滄石鐵道其他濟南順德間及二三の鐵道線路等がある何れ各線路完成の曉は可成り交通は便利となる筈である目下の支那の様に内治外交何れの方面に於ても具合がよくない状態では資本の融通が自然困難に陥る結果となるから支那の如き借款に依る交通完備も中々容易の事では無からうと考へられる尙又交通上に於て航空路も段々發展して來て居るが現在北支に航空權を保有して居るのは日米獨の三國であつて次の如き各線がある

- 一、天津を中心として北京張家口山海關大連に航空路を有する日支合辦の惠通公司經營のもの
- 二、北京天津青島上海等を聯絡する航空路にして米、支、合辦の中國航空公司經營に係るもの
- 三、獨、支、合辦により經營さるゝ歐亞航空公司の北京鄭州漢口等を聯絡する航空路線

### 産業概観

北支五省に就て見るに地方的に相當商業の繁盛な都市も少くないがさて工業の發展した都市となると極めて少ない一體北支のみで

はなく支那に於ては今日まで加工品を殆ど外國に需要して居る状態であるから自然に製造工場が遅々として發達しなかつたので最も之が原因は昔から支那と云ふ國が對外的にも又國內的にも戰亂や騷動計り續いて居つた事が考へられるのである併しながら生活費の低廉なる支那の事であるから時代に壓せられて近年は段々外國資本が入つて工場建設が此處彼處に見られる様になつたのであるそう云ふ情勢で今日北支の商工都市とも云はるべきは先づ青島、濟南、天津、北京等に指を屈する事が出來ると思はれるが青島に紡績糸やビールの生産をなし又牛肉鶏卵落花生其他の取引盛んなる點に於て北支に雄たる都市であることは開港場であるが曾て獨逸が膠州濟を支那から租借して此地方の鐵道敷設權鑛山採掘權を得ると共に青島港を建設し漸次立派な港に仕上げたのであつたが彼の歐州大戰の結果我が國の手を一度經由して支那に還附された因縁のある處である、其他濟南は山東に於て工業もあり又農産物の取引盛なる處であつて又河北省に於ける天津は開港場を兼ねたる商工都市であつたが國民政府となり首都を南京と定めてからは寧ろ商業都市として發達の情勢にある

貿易港としては相當發展せる者が見出せるのである今是等貿易港を擧げて見ると奉皇島塘沽があり白河に臨んで天津があり渤海方面に龍口芝罘及威海衛又黃海に面した方に青島がある之等に依つて此支の貿易品は吞吐されるのであつて我が國對支貿易は其最も多額に上る上海を中心とする揚子江筋の所謂中部支那貿易額に對して近年此北支各港の貿易總額は其壘を壓せんとする勢を以て發展して居るのである今回の支那事變に依つて我が對支貿易關係は混沌として居るが何れ事變の進展につれて北支方面が段々平穩状態となつて行くときには總て北支の各貿易港は復活の状態となつて反つて以前に倍する繁盛が見られるのではなからうか殊に天津並に青島には大いに興味を以て期待し得る者があると考へられる

次に北支に於て各種産業中で最も發達して居るのは支那人の民族性にも歸因する最も得意とするのは商業である其他の産業は未だ余り振はない状態に置かれて居るのである併しながら無盡の資源寶庫と考へられる北支に對して何れの他國人も之を傍觀的に放任する筈なく其れれ機會ある毎に利権を獲得して産業方面の開發を圖る所があつたので北支方面にも斯の如き關係に依つて産業の見べきものが段々勃興しかけて來て居るのであるが軍閥の跋扈せる今日迄の支那の状態では企業上の危險を冒して迄産業上に投資をしようとする様な物好きの資本家も少かつたのであるから少數のもの以外容易に事業が起らなかつたのも當然と云へるのである其間にあつて我が國の資本は青島に一億五六千萬圓天津に三千萬圓北京に於ける鐵道などに一億數千萬圓の借款投資を有して居るが他外國の投資もあるのは無論である

斯くして支那は人口多く従つて需要品の消費額は大きいものであるから世界各國の貨物消費市場で自然商業が盛んであるが他の産業は之れに伴はない情勢で此状態は特に北支に於て著しいのであるから天津及青島が相當に商業が盛んであつて北支地方産業原料品の海外輸出港であるとは云へ寧ろ輸入品の市場として地方及奥地への配給基地となつて居るのである又北京も消費市場として商業は相當に盛んであるが此處は貿易關係は殆どないそこで北支在留外國人の多いのは天津青島北京であるが商業關係の在留外國人が比較的多數に占めて居るのであるから其在留人の多寡は従つて各國の商業關係が反映されて居ると見ても強ち間違は無いであらう而して北支の文化や經濟の發達して居る處は大都市や開港場位なものであつて鐵道沿線以外であるとか農山漁村と云ふ様な地方になると文化の程度極めて底く經濟生活は従つて幼稚で商業の見可きものはないが開港場や大都市に於ては公司即ち株式其他會社組織に依つて銀行業保險業信託業運輸業百貨店交易所其他物品賣買業等を盛んに經營して居るものも多いので又個人經營で發展して居るものもあるししかも支那は中々商賣上手で商業は其天性的とでも云へる程であるが従つて各國人も斯様な商業の盛んな地に在留する者が自然多數をしむる状態である

併し支那は一度奥地に這入ると地方は都市や開港場と雲泥の差で往民の生活程度は極めて低く従つて原始生活的物々交換が行はれて居る所も少なく無いと云ふ様な状態地方住民には一般に資金が欠乏して居るから従つて個人の小營業はあつても地方に余り發達して居ない代りに月六回の定期市及其他の市が地方各地に開かれて商人も農業者も其處に集まり來つて農産物其他の商品の賣買が行はれる習慣がある

次は工業であるが北支の工業の原料となるべき資源は或は地下に鑛物として埋藏され或は農産畜産商産等に於て生産可能の資源實に饒々たる者であると云はれて居るに拘らず惜い哉産業が幼稚な爲め未だに各種の資源は未開發の儘に放仕されて居るものが多いと云ふ現状であるから従つて各種の工業は遅々として發達しないのであるたとい工業振はない支那であるとは云へ古來行はれて居る手工業や家内工業は今尙相當に保続して居り又鋼鐵等に依る重工業こそないが紡績業製粉業セメント工業の如きは比較的發達して居るが日本其他の外國資本の事業が相當發展して居るのを見受ける尙北支方面に於ける各種工業に就て見るに紡績生絲絹織物セメント製粉製油燐寸精製監等である

以上述べた外に北支には其規模には多少の差異はあるが各種の工業が各地に散在して居る即ち青島及天津のビール及サイダー工業青島及天津の烏卵加工業山東省濟南の製糖工業山東河北山西の卷煙草工業皮革工業硝子工業山東河北の製紙工業天津の法郎鐵器工業其

他曹達及酸類等の化學工業も北支に於ける工業として河北省内に存在して居る尙落花生油や加工卵の様に海外へ相當輸出されて居るものもあるが其他の工業製品類は國內需要の一部を充たすに過ぎないで大部分は輸入に待つ状態である

石炭

支那に於ける石炭の採掘は二ヶ年前漢代の頃より行はれ元代に至りて廣く燃料として消費された其埋藏推定量は古來極めて豊富であるが相當豊富であつて或る者は山西省の石炭埋藏量のみにも一兆三千億噸に達すると見積つたしかしこの推定は支那一流の誇大思想が混入せるものといはれ其後數度の調査報告にて二千四百五十億噸と云ひ或は九千九百六十噸と云ひ或は山西省のみにて二百億噸陝西省にて埋藏量一千六百億噸との推定を發表するなど著しき不同がある是等は全埋藏量と可採埋藏量との相違にもよらんが未だ完全な調査が行はれて居ないことを物語つて居る今一九三四年に民國政府實業部發表の中國鑛業紀業に基き各省の推定埋藏量及び炭質を左に掲ぐる但し全支の量は二千四百八十二億八千七百萬噸で此内滿洲國に屬する分四十六億一千萬噸を控除し且つ新疆甘肅諸省は調査未済にて見積を掲げたるものである

各省石炭埋藏及炭種	百萬噸	無煙炭	其他
山西	一二七、一二七	八七、九八一	三六、四七一
陝西	七一、九五〇	七一、二〇〇	七五〇
河南	六、六二四	一、九九四	四、六三〇
河北	三、〇七一	二、〇八八	九八一
山東	一、六三九	一、六一三	二二六
察哈爾	五〇四	四八七	一七
綏遠	四一七	三三七	五八
甘肅及寧夏	六、〇〇〇		一一一
以上合計	二二七、三三二	一六五、七〇〇	四二、九三三
四川	九、八七四	九、八一〇	六四

新	南	雲	貴	江	福	湖	廣	安	廣	浙	合
南	南	州	西	建	北	東	微	西	蘇	江	計
六、〇〇〇	四、〇〇〇	一、六二七	一、五四九	九六九	五〇〇	四四〇	四二一	三四七	三〇〇	二二七	二四三、六七七
三三八	一、四八五	七五五	七六五	二八〇	三七一	二八七	四四	一九二	八一	一八〇、一三三	一八〇、一三三
二五五	一一一	七七四	二〇四	五一	一六〇	五〇	六〇	一一三	二五	二二〇	四四、七二〇
一三二											二、八二六

炭田の地質系統

北支の石炭は日本内地には見られない古い地質時代に属する古生代産が最も重要な位置を占めて居るのである河北山西の炭田の大部分は二疊石炭紀層で朝鮮の平壤炭田滿洲に於ける本溪湖炭坑は同時代に生成せるものであるこの二疊石炭紀層は頁岩及び砂岩を伴い数層の薄い石灰岩を挟み岩層の上下を通じて普通十層内外時に十七層も介在して居るこれに随伴して往々耐火粘土を産出する厚い炭層は一層丈でも十米突以上に達し可採炭層を累計すると總厚二十五米突にも達する處がある含炭層の直下には殆ど例外なしに厚い石灰層が發達してこの石灰岩と岩炭層との中間には普通赤褐色の粘土質岩層がありその中には赤鐵礦が包蔵されて居る次の中生代の含炭層は綏遠察哈爾兩省地方の多くで日本では京都府の舞鶴炭田福井縣の谷村滿洲では新邱北票諸炭坑が同時代であるそして炭層の數及び厚さは各區に於て差異はあるが同一炭田でも炭層の數は處によりて増減し殊に厚さの變化は古生代の炭層に比して遙かに不規則である厚さ一米突以上は四層乃至十層内外で山西及び陝西の北半部に亘つて可成りの廣さで分布して居るが古生代

産に比すれば區域は遙かに狭小なのである  
 新生代の第三紀層は我が九州の三池炭田筑豊炭田及び北海道の石狩炭田本州の常磐炭田など總べて此炭層に屬して居るのである滿洲でも撫順炭坑はその代表的のものであるが北支では分布が甚だしく綏遠省の馬連灘炭田等は此地層に屬するのである又第四紀層は日本内地の愛知縣長久手村炭田がそれであるが北支でも稀で河北省の三河綏遠省の台格水炭田などがこの炭層で一般に北支の地質構造は簡單で且つ大規模であるので随つて含炭の状態も概して規則正しく傾斜も緩慢で産業上には非常に有利な點が多いのである山西省の大炭田は一望八十數里も連綿として炭層が連絡して居るのである

河北省の埋藏量と採炭狀況

全支の埋藏量の五二%を占むる山西省の炭業が殆ど未開拓に等しき狀態であるのに對して河北省ではその埋藏量は全支の僅か一、二六%に過ぎないのでその出炭量は全支の生産高の四割以上を占めて居る然も又開採井陘炭坑の如き有数の大炭坑を有するのは地の有を得たる爲めであつて自然と外國資本の投下するものも早く開發の運があつた譯であるそして其埋藏量も二三、〇七一(單位百萬噸)に達して居る

開採炭坑

そして開採炭坑は北支第一の炭坑で深縣開平鎮にある開採鑛務局の經營であるこれは民國元年英人の組織した開平鑛務公司と支那人の經營して居る灤洲鑛務公司との合併で出來たもので英支合辦事業である資本額は二百萬磅である之れより先清の光緒三年清國政府より人を派して唐山炭坑の計畫を實施せしめたのが始まりで翌年に官督民營を以て資本金を百二十萬兩の開平鑛務局を開設し光緒十五年から二十五年の間に唐山及び林西の兩堅坑を開鑿しそして海港秦皇島をも開くに至つた其後光緒廿六年庚子の亂に當り英人組織の開平鑛務公司に賣却せられそして光緒三十二年に資本金二百萬兩を以て設立せられ馬家溝に開坑され灤洲鑛務公司と併合することとなり民國元年に至つて聯合營業に關する契約を結んで開採鑛務局として今日に至つて居るのであるそして現在の鑛廠は唐山林西趙各莊唐家莊及び馬家溝の五ヶ處にありそして馬家溝廠は民國二十五年一月より作業を中止して居る、炭田は唐山より東北に向つて延長し二疊石炭紀に屬し炭層の採掘し得べきものは十三あり埋藏量は現在量として約七億噸と稱せらる尙開採鑛務局の見積額は次の如くである

唐山	四二、八六五	既採量	二二、四二〇	現存量	二〇、四四五
鑛區		總量(千噸)			

馬家溝	三三、五〇五	三三、三四〇	二〇、一六六
唐家莊	一三、二〇〇	六、三六一	一六、八三九
林西	八一、三二六	一三、八三四	五七、四九二
趙各莊	九三、一九五	二九、二二六	六三、九五九
計	二七四、〇九二	九五、一九一	一七八、九〇二

開採炭の販路は北支のみならず中南支及び日本に及び我が國では開平炭販賣會社を通じ最近は年六十萬噸程度の輸入をなして居る北支地方の需要は北京より山海關に至る北寧鐵道沿線並に津浦北線及び煙台一帶で南方は上海を含む揚子江沿岸諸港及び廈門香港方面へ秦皇島を通じて移出する

### 井陘炭鑛

井陘縣の東北崗崙村にあり石家莊驛より正太線にて四十四軒の地點にある南河頭驛距る二十支里の地で輕便鐵道により正太線と連絡して居る遠く光緒二十四年に獨人と支那との合辦契約により廿五萬兩の資本にて採掘せられた其後民國四十一年契約を改訂し河北省政府三百三十七萬五千元獨人パウエル氏百十二萬五千元合計四百五十萬元の支獨の官商合辦組織に改められて居たが今回支那事變に於て日本が石家莊を占據するに及び獨逸人の持分を全部日本の興中公司にて肩代りして調印を了した讓渡金額は百四十五萬元といはれて居る

二疊石炭紀に屬し可採炭層六枚あり炭質は高度瀝青炭及び半瀝青炭で骸炭製造に適する年産百五十萬噸の設備を有するも近年七八十萬噸の採炭をなして居る左に生産量並に營業成績を示す

出炭量	一九三三年	一九三四年
七〇六、〇八〇噸	七五三、四四四噸	
販賣量	五八三、一三三噸	六三〇、九〇六噸
純益	三五三、五九三元	二九五、一二五元

従来の販路は北京天津より上海漢口に亘つて居たが最近は諸種の事情から市場を縮少して現在は殆ど順德及び保定に限られて居る埋藏量は二億二千百萬噸と見積られて居る

### 抑江炭坑

此の炭坑は監檢の柳江にあつて秦皇島を亘る約三十軒で輕便線により北寧鐵道に連絡して居る支商抑江煤鑛公司の經營であつて炭質は無煙炭を藏し産年額二十萬噸内外を産出して主に秦皇島より長江沿岸の各港へ移出して居るが民國二十四年に隣區の秦記公司(日支合辦)と統争を起したりして居たが遂に開採鑛務局の買收するところとなつた

以上の外井陘縣下の鳳山村にある正豐炭坑は其埋藏量二千四百三十七萬五千噸と見積られて居る

門頭溝中英煤鑛公司是宛平縣下の門頭溝にあり埋藏見積量は五百五十萬噸と云はる

齋堂煤鑛公司是宛平縣の樹兩郡にありて民國七年に創設せられたもので其推定埋藏量は無煙炭約一億六千五百萬噸有煙炭八千五百萬噸と云はれて居る

臨城炭坑は臨城縣の西北にあり京漢線鴉魯營驛より小元迄約二十八支里の支線にて連絡す炭層は二疊石炭紀に屬し粘性に富む瀝青炭で埋藏量は四億五千萬噸と云はる

怡立煤鑛公司は縣の西佐村にあり二疊石炭紀に屬し重要炭層九つあり炭質は高度瀝青炭でコークス製造に適する支那民營で産出量年産二二四、〇四噸を出す

中和煤鑛公司に磁縣峯々村にあり怡立公司を距る六里京漢線の驛を距る三十里にあり産出量は九三、六二三噸で炭層は二疊石炭紀で含炭層十五あり有煙炭でコークスの製造に用ひらる

長城炭坑は臨榆縣にあり秦皇島迄自營の輕便鐵道あり埋藏量四千萬噸と稱せられ支那人の民營で毎年無煙炭十萬噸を産して居る其後日支合辦の東拓炭鑛鐵道會社が新設されその開發に當ることとなつた日本側二百萬圓出資支那側は現物出資で初年より三十萬噸四年目に五十萬噸の増産の豫定である

河北省には以上の外に房山縣には長峪溝の興資公司興隆縣の馬圈子沙河の公孚煤鑛あり磁縣には怡立及び中和公司以外に河北省官鑛區あり

### 山東省の炭量と各炭田概況

博山炭田膠濟鐵道の張店より南方へ張博支線により礦運連絡し淄博本區黑山區及び西河區の三部に分ち得らる二疊石炭系に屬し含炭層十餘あり埋藏量は實に四億六千萬噸と稱せられて居る炭種は半瀝青炭及び無煙炭である主なる炭鑛博東萃東悅昇等で博東炭坑は

日支合辦で年産八萬噸で炭質良好である爲め膠濟沿線のみならず上海及び南支方面にも販路を有して居る悅昇炭坑は日産額一千噸にも達し青島濟南上海並に長江沿岸に移出し二十三年度の販賣高は二八四、八〇〇噸で營業は比較的良好である其他同興吉成華東利興等の諸公司あり現今では博山炭の出炭總額は百九十萬噸に及んで居る。

淄川炭田は膠濟鐵道張博支線の淄川驛と支線により連絡し淄川本坑の外十里莊南旺崑崙坑等がある年産額六七萬噸に及び主として膠濟鐵道及び其沿線に使用せられ約二十萬噸は青島を経て他地方へ移出される。

坊子炭田は膠濟線濰縣の近くの坊子附近にあり魯大公司の鑛區を受けて採炭しつゝあり炭種は有煙炭であるが無煙炭となれる處もある埋藏量千四百噸出産量は東西三坑にて年産七萬噸位である。

章邱炭田は膠濟線王莊曹集明水及び郭店に至る各驛の南に東西の延長約四十軒に亘つて在する炭田の埋藏量は四億三千萬噸と稱せられ半瀝青炭及び無煙炭を産す。

膠縣炭田は津浦線沿線では江蘇省境に近く存在する嶧縣炭田が最も著名で炭種は嶧縣城北十二軒の炭莊にあり中興煤公司の經營である年産額は百五十萬噸にして山東省最大の炭坑なるのみならず支那全體としても有名な炭坑で出炭額の約半分は大運河並に揚子江沿岸及び津浦瀋海京滬鐵道に供給される炭質良好で生産費不廉なるも我が國でも日本鋼管會社にては之れを使用して居るのであるその埋藏量は一億三千萬噸と云はれて居る。以上の外津浦線大汶口驛の東六十支里禹村の東に萃寶炭坑あり大汶口西北十三軒に萃豐炭坑などがあるが其規模小さく出炭量も少なし然し炭質は比較的良好である。

### 全支の過半以上を埋藏する山西炭田

山西省は炭田の分布極めて豊富で埋藏量は千二百七十億噸と稱せられ全支の五十二%にも上つて居るが出産量は一九三五年に於て僅かに二百七十萬噸に過ぎず河北省の産額の漸く三分の一に當るのである山西實業廳の調査によれば産炭區は約五十七縣に分布し鑛業公司約一千五百處坑夫數三萬七千名なりと云へば如何に其小規模な原始的採炭法が行はれて居るか分かる斯の如く其開發の遅れた原因は地方需要の不振と稅課の過重も一つの原因ではあるか最大の原因は省外輸送の運費高である輸出港は塘沽であるが大同より四百五十軒平定より五百軒に當り殊に正太線の運費高率にて山西炭は他炭に比し二倍乃至四倍の高率運費を負擔して居る状態であるので隨つて山西省開發の條件は津石線の敷設其他運輸の便を開き炭田の附近に鐵工業の開設又は石炭の液化輸送等が論ぜられて居るが此事に就ては終りに述べる事にす。

そして山西省内の炭田は凡そ大同地方、大原地方、平定地方、臨汾地方、渾源地方、寧武地方及び臨縣地方に大別する事が出来る。

### 大同地方

大同炭田は埋藏量九十六億噸と見積られ著名な營業所は大同保晉分公司晉北鑛務局同資公司寶恒公司等がある大同保晉分公司炭坑は口泉驛の西北にあり民國十四年の事業開始以來の出炭量は同年二萬三千噸十七年六萬二千噸二十年十萬噸二十三年十二萬一千噸となつて居る同資公司懷仁縣界の胡家灣にあり資本金三萬元の民營で廿三年の出炭量四萬噸である晉北鑛務局は廿一年公民合辦の株式會社とし資本金を百五十萬元鑛區は永定莊以下八ヶ所出炭量は一九三二年二十四萬二千噸となつて居る寶恒公司是辛村白土窯にあり資本金十一萬の支那民營で産炭額は廿三年六萬二千噸である其他協興公司恒義公司同泰公司大同公司等がある。

### 平定地方

平定保晉公司是正太線陽泉附近にあり鑛區十四ヶ所資本金三百萬元支那民營で埋藏量一億二千萬噸と見積られ炭質よく無煙炭大塊をなして産す出炭量は廿三年二十萬二千噸販路は北京天津上海及び石家莊太原並に地元である壽陽保晉公司是壽陽縣陳家河口にあり半無煙炭で日産額百噸内外である。

晉城保晉分公司は晉城縣五里舖及び河東村の兩所にあり炭種は無煙炭で年産額二萬噸位、建昌公司是平定縣蔡窪溝にあり百二十萬元資本の民營で高級無煙炭を産し廿三年出炭額四萬六千九百噸である。

陽泉附近には右の外小炭鑛業者多數あり陽泉炭業公會の統計によれば同區の産炭額は廿一年七萬四千噸廿二年五萬七千噸となつて居る。

### 臨汾田炭

其他南部の臨汾炭區は埋藏量三百十億噸と稱せられるも大公司なく出炭量僅かに年二十萬噸に過ぎず炭質は有煙炭で公司としては美利公司普興公司等知られて居る。

太原炭區は埋藏量八十一億噸有煙炭及び半無煙炭で年産三十萬噸である太原縣南峪桃園に生吉公司がある。

寧武炭區は埋藏量七十八億噸で瀝青炭を産するも交通不便にて産炭少く。

渾源地方は埋藏量十五億噸でこれ又交通不便の爲め開發遅れて居る。

臨縣地方の黄河東岸は百八十二億の埋藏量を有す全部瀝青炭で産額は極めて少ない。



山西省の炭業は全く將來の問題で今回の支那事變を一轉機として開發上一新紀元をなすものと期待される。

### 全支第二位の陝西省

陝西省の石炭埋藏量は七百億二千萬噸で全支二九五%に當り山西省に次ぐ第二位の石炭國である此内省の中部の古生代炭田最も有望の二疊石炭紀に屬し陝北地方は炭層概して薄く又南秦嶺山中は常に變質作用を受け此中部の有煙炭に對し南部は無煙炭を多く産す

### 中部及陝北陝南

中部炭田中部陝西の炭田の一は淳化より宜君に至る延長四〇軒に亘り二疊石炭紀に屬する炭層で産炭は瀝青炭である同官炭田は西洞樹溝に起り陳爐鎮を経て陳家河に至る長さ約百二十里同じく二疊石炭紀である白水澄城炭田は同官炭田が東に延長せるもので炭層約四抗夫百余名で探炭す韓城炭田はその東北山西省境に近く黄河に臨み炭質は有煙炭で船にて潼關を経て西安へ送る埋藏量は七億噸である。禮子山には無煙炭を産し資本金三萬五千元の商辦で日産六十餘噸である。

鄜縣民生炭坑は柏子溝にあり無煙炭に屬し民生公司是民國二十二年創設し資本金二萬二千元で年産は一萬噸を産出して居る。北部炭田陝西地方は石炭層が廣く分布して南北へ帯の如く存し宜川鄜縣間より北は神木榆林に達し炭層は約四層あり延長、延川、朱脂、府谷、等にも皆石炭を産すそして探炭は凡て土法により従つて出炭量は少いのである。南部地方陝南秦嶺山中にも各石炭の炭層あり上部は黑色頁岩で劣質炭層を夾む鎮紀附近最もよく發達して居るが炭層が薄く大なる價直はないのである。安鳳縣略陽等皆探炭して居る城固、漢陰、洵陽、平利地方は二疊石炭紀層廣く分布して居る。

以上の外察哈爾省河南省綏遠省甘肅省あるも之れを省略するが右の内河南省は山西山東陝西河北に次ぐ石炭國である。

### 北支炭業不振の原因

支那の石炭埋藏量は二千四百三十六億七千七百萬噸で世界第三位である北米合衆國の一兆五千五百九十五億九千九百萬噸には及ばないが日本の百五十億噸に比すれば比較にもならぬほど巨額の富源を地下に埋藏して居るのであるそれに石炭の生産量は北米合衆國の三億八千三百三十一萬四千噸日本の四千二百六十九萬九千噸(何れも一九三五年)に比し僅かに二千萬噸(一九三四年)に過ぎぬ貧弱さである此れを今北支八省に就に見るに埋藏見積額二千七百七十三億噸に對し出產高は河北省の七百七十四萬噸山東省の三百五十萬噸山西省の二百七十萬噸察哈爾省の二十萬噸綏遠省の六萬噸(千九百三十四年)河南省の百八十四萬噸陝西省の二十二萬噸甘肅省

の十萬噸(一九三二年)合計千六百三十二萬噸となつて居る。斯の如く支那が極めて豊富なる石炭資源を有するにも不拘その開發の進まないのは種々なる理由があるのであるが大體次の様な觀察が得られるのである。

- 一、一般に支那産業の發展段階が極めて幼弱なること
  - 二、國內工業未發達にて石炭の需要少きこと
  - 三、水災多く屢々停止の止むなきこと
  - 四、政變兵亂多く破壊又は掠奪を受けること
  - 五、資本の欠乏と技術の幼稚にて小規模經營の多きこと
  - 六、重税の負擔にて採算不利なること
  - 七、外國炭の投資により壓迫を蒙ること
  - 八、掘鑿事業に必要な木材の欠乏の甚だしきこと
  - 九、鐵道及び水運の便劣く運賃の不廉なること
  - 十、勞働爭議の頻々として起ること
- 以上の様な譯で出炭事業が遅々として進まぬのである。

### 石油

動力源としての石油の需要は近來躍進的增加を見て居るのである一九二〇年に於ける世界の石油年産額一億噸は一九三五年に至り二億二千五百六十萬噸となり十五年間に二、二五倍の激増を示して居るそれは飛行機自動車發動機船等の發達によるガソリンの使用のみならずディーゼル機關の發明に伴ふ工場船舶用燃料としての重油の需要莫大なる額に上る爲めである石油は石炭に比し發熱料の高ひこと、貯藏に要する容積小なることと火力の調整容易なることと輸送積卸に便利なることと重油の價格低廉なることなどの特長により今や國防並に産業上の燃料問題は石炭より石油に移りつゝあり石油資源の爭奪は世界の重大なる政治問題化せんとする程重大問題であるのである外務省の調査に依れば一九三五年度に於ける世界の石油消費額は十五億七千九百萬バレルで此の内北米合衆國は九億

七千バレル日本は二十四百八十萬バレル支那六百十萬バレルであるとして日本に於ける原油の年産額は僅か二百萬バレルに過ぎず國內消費額の十分の一にも足らず一九三五年外國より輸入せる石油は四百十五萬六千四百八斗で其價格一億五千二百七十四萬七千圓に達し綿花鐵羊毛に次で第四位の輸入金額となつて居る殊に戰時に於ける日本の石油需要は専門家の推算によれば年一千五百萬圓と稱せられ國外石油資源の確保は軍事上焦眉の急といはれて居る此の見地から北支の陝西甘肅方面に分布する油田は極めて注目すべき價値があるのである。

一九二〇年米國地質學協會のステビンガー氏が内輪に見積つた世界の石油埋藏量は概算七百億バレルで内最も多きは北米合衆國の七十億ロシアの六十億ベルシヤ及びペソポタミア六十億メキシコ五十億東印度三十億支那十三億日本十二億ルーマニア十一億南米全體にて約百億と見做して居る然し實際は此數字よりも巨額なるべき見込みで最近の測定に依れば北米合衆國のみにて採取可能量百二十億以上に又ぶと報告されて居る

### 陝西省の油田

支那の石油地帯は西部高原地帯を主とし新疆省北部より同省の南山及び甘肅省敦煌に至り更に又甘肅省東部より陝西省北部に至り南は秦嶺を越えて四川省赤色盆地に達し西藏高原の一半を繞る地域にまで延び特に陝西、四川、甘肅諸省の埋藏量豊富であり更に北は熱河南は貴州廣東湖南にも鑛脈が分布して居ると云はれて居る現に陝西北部四川中部及び甘肅省の西北部では土法による小規模の採取が行はれて殊に陝西省延長の油井最も著名で近代式設備を以て採油を行つて居る又甘肅では西部地方即ち敦煌より玉門酒泉に至る區域は埋藏最も多く玉門地方では地上に滲出せる處あり燈火用に供せられ又滑劑に使用する處あり品質も燈油分七〇%揮發油分一四乃至一六の間にありと云ふ。

最も注目すべきは陝西省の油田で陝西省政府の發表に依れば同省内の油田は極めて廣範圍に亘り既に發見されたる油井數三十にも及んで居る北は米脂より南は宜君同官に至り西は安塞東は黃河の流域に及び總延長約七〇〇里幅員二〇〇里以上に達し省總面積の半分にも等しいのである特に膚施、延川、及び延長の埋藏量は豊富である先年交通部ではその開發に助力し民國廿三年資源委員會と陝西省政府との共同試錐により延長東門外の雷家溝と延川永平灘の東十里の地點にて油層に到達して延長は一日に約三千斤で永平は約六十斤の噴油を見たが翌廿四年匪亂のため中止するに至つた尙陝北石油産地にして國有鑛區に屬するものは延長張家園、雷家溝一帶の

兩區合計四一、〇一〇アール延川、永平鎮一帶の一區六六、八四四アールである

延長石油官廠は縣城の西門外にあり陝西省營で資本金廿萬兩光緒三十三年の創設で初めに産油三千斤ありしが民國初年に二三百斤に減じ六七年頃は又六七千斤に達した新井は民國十八年四月出油初め二萬斤の産油を見たが漸時減少し何れも日産百斤乃至二三百斤に止まつて居る石油官廠の報告に依れば二十三年度の職工數は七人乃至十四人販賣額は四萬四千餘斤自家用二千五百餘斤販路は交通不便のため地元及び膚施清澗宜川各縣に限られてゐる。

### 甘肅省の油鑛

甘肅省の石油埋藏地帯は西部の敦煌、玉門酒泉一帶であるが全省の石油産出額は民國十八年百四十桶(一桶四十二ガロン)同十九年百四十桶同二十年百桶夏季農民に依り汲取られ毎百斤の地元價額約三元稅捐三元で高台臨澤張掖方面に販賣せられて居る主なる油鑛は次の様である。

玉門東南九里祁連山北坡石油河左岸一帶にあり交通は玉門へ西北百九十支里酒泉へ東北二百三十支里である鑛床壯況は石油河は兩岸と共に深き谷をなし其廣さ二百尺高さ三百尺で油田地質の上層は土質礫岩にして中に赤色の頁岩あり下は灰色の砂岩で其厚さ八百尺石油は河に沿ふたる東岩砂岩内より流出する祁連山東側の赤色を呈せる砂岩の下にも濃厚なる墨色油が流出するとして大小の石油泉四十一ヶ所も存在す尙年産額民國十九年に三十八噸であつた

白揚河村石油鑛は玉門縣白揚河村にあり油田は石油河を巨ること四十支里北方八十支里で惠回堡に至り之れより酒泉に大車を通ずる道路がある鑛床狀態は石油溝の幅五尺深さ十尺余長さ二支里左岸の上層は黃土で下層は灰色砂岩である厚さ約四百尺石油は砂岩の内より流出し油質は濃厚である溝の右岸は赤色頁岩及び灰色砂岩で厚さ九百尺で油泉は六ヶ所である原油は揮發油一五、五%石油七〇%を含有する

以上の様な状態であるが最近に於て國民政府の實業部で五ヶ年計畫の一として四川及び陝西油田の調査研究と共に之れが運輸方法の改善を企圖したが今回の事變の爲め立ち消えとなつたのであるとして若し四川及び陝西に約五百の油井を開鑿し新式機械を採用し運輸方法の改善も出来れば毎年約八十萬ガロンの石油を産出する事を得しかし之れが完成の爲めには約一千二百五十萬元の巨費を要するものと見られて居る此事變後に於て我が國民の奮起を望んで止まないものである

## 鐵とアルミニウムの資源

### 支那鑛業の沿革

支那に於ける鑛業の始めは随分古ひ歴史を以て居るのであつて古へから支那人はよく金屬の使用することを知り又冶金術も秀で石炭の利用なども早くから知つて居つたのである然るに漢代以後に於て鑛山の探掘に制限を加えられ又甚だしく風水の迷信に禍せられて一九六〇年——一二七〇年の間は全く支那鑛業の衰微の時代であつたのである其後漸時發達して來て清朝の時代になつては二割位の税金を納めて鉛錫等の探掘が許される様になつた、高宗の時代になつて鑛業は主要なる産となるに至つたのである一八七八年季鴻章が直隸總督時代に開平炭坑を採掘し現時の關深炭の先驅をなしたのである

一九一一年民國政府成立以來は組織的地質調査が行はれた北京には地質調査所が設けられ北部及南支の鑛業資源の探査が行はれ民間に於ても試掘が盛になつたそして支那の鑛物分布の狀態が漸時判明するに従ひ石炭及びセメント材料となす石灰岩の豊富なると共に鐵及び石油の埋藏には多大の期待をかけ得ざる事も判るに至つた又支那と云ふ國は世界に於ける銀の最大消費國であるにも不拘銀の埋藏は殆ど問題となすに足らぬ狀態である然し一面に於てはタンクスデン及びアンチモン等の如き新鑛物は發見以來多量に産出し共に世界市場を支配するの盛況にあるのである即ちタンクスデンは世界産額の六三%アンチモンは五五%の供給をなすに至つたのである

### 將來に於ける重工業中心地帯

先づ支那の重要鑛業資源地として凡そ之れを二地帯に分ける事が出来る一は北支那の黄土高原地帯であり他は中部支那湘江の山地帯である即ち北支では陝西の石炭察哈爾の鐵及び河北の鐵石炭の埋藏地を結ぶ一帯である中部支那では湖北の鐵江西の石炭及び湖南の錫鉛アンチモン等の特産地を結ぶ地帯であるそして中部支那には既に湖北の大冶鐵山江西の萍鄉の炭山及湖南の水に鉛錫などの近代設備をなしたる大鑛山が存在するが北支那では之等に匹敵する者は河北の開採炭坑位のものに過ぎない之れは湘江の地が鐵道に又舟運に便利であるのに反して山西陝西察哈爾地方は交通は開けず運輸組織の欠陥にも依るのであるが一面には北支那が近代資本主義文明に取り殘され今尙封建的産業の殻内で資本の欠乏と採鑛技術の幼稚と基礎調査などの不充分等に原因する事は明かである

隨つて今回支那事變を契機として内外資本の投下鑛業地質學の進出高度採鑛精煉法の利用を見る様になれば交通機關の整備と相待つて其富源の開發は目覺しき者があるであろう特に又山西察哈爾の石炭と鐵の結合は極めて自然的であるので有利なるは論を俟たない此地帯より河北省の北部鑛山地帯を経て秦皇島に至る一帯は恐らく北支那工業の中心地となるであろうとして此一帯に對し山東省も亦鑛物の埋藏豊富であるから龍口、青島、連雲港を控へて極めて有望なる將來を有するのは勿論である

### 北支の鑛産特性

北支那の鑛産資源は南支那に對して相當の特異性をもつて居る即ち鐵の埋藏は北支八省と他全省と殆ど匹敵する狀態にあるが石炭に於ては斷然北支に埋藏多く山西省にても中南支に優り八省の合計は全支の殆ど八〇%以上を占めて居るまた石油の資源は陝西甘肅にて獨占の形にあり金の産出も亦山東省は湖南の比ではない其アルミニウム原鑛ニッケル等も北支に有利であるがアンチモン錫水銀等は殆ど北支には産出せず鉛鉛錫タンクスデン等も遠く南支に及ばない

又北支に於ても各省によつて其鑛物の分布を異にし陝西の石油山東の金及びアルミニウム原鑛山西の鐵及び石炭察哈爾の鐵河北の石炭及び鐵等は何れも代表的なもので豊富な埋藏量を有して居る

### 鐵鑛埋藏量

支那に於ては鐵は有史以來重要な労働材料であり又交換材料でもあつた然し鐵貨幣の鑄造は全貨幣の一六%にも過なかつた事は鐵の産出が尠かつたことを物語つて居ると云はれて居る一九二五年世界の鐵鑛埋藏量を約二千二百五十四億七千五百萬噸と推定し此内支那は十三億噸と推定せられ滿洲國の埋藏量は七億六千萬噸と云はれる

右に依れば支那の鐵鑛埋藏量を以てしては全世界の鐵の需要を五ヶ年間支ふるに過ぎざる狀態である然し支那としても特に鐵鑛資源の乏しき日本としては至急大陸の鐵鑛を開發すべき必要に迫られて居る日滿支經濟プロツクの結成と云ふもこの鐵政策の如きは重要な目的の一つである事は明かである之れが爲には資本の投下と共に進歩せる技術の注入低廉な輸送機關の整備特に察哈爾山西の鐵鑛開發はこれが先決問題である從來遼縣の鐵鑛石と其附近の開平炭とを組合した秦皇島製鐵所計畫と井經六河溝又は開平炭と龍煙鐵鑛とを關連せしめた龍煙製鐵所計畫があつたが前者は鑛石の實現を見たが經營法の欠陥により操業中絶となつて居る更に又積極的に山西省に一大工業地帯を起し製品として消化せしむる案や秦皇島に一大重工業地帯設定の必要等が叫ばれて居る

以下各省についてその埋蔵量と産状を検討して見よう

### 各省鐵鑛の産況

一、察哈爾省の鐵鑛は埋蔵量に於ても支那第一の稱がある主要鑛區は煙筒山及び龍關にあり龍煙鐵鑛と呼ばれて居る埋蔵量は前者千四百萬噸後者七千百萬噸全省九千百萬噸と見積られて居る鑛石の品位は煙筒山は含鐵量五〇%龍關は六〇%前後で良質に屬する採取權は龍煙鐵工公司の所有で同公司は官商合辦で民國の七年に成立して資本金は五百萬元の會社である煙筒山は京綏綏宣化驛より千軒龍關は七百軒の地點にあり同公司は兩鑛に專用鐵道を敷設し又北京西方の石景山に製鐵所を設け熔鑛爐二基を設備して年産額八萬噸計畫を立て一九一八年七月採掘を開始したが歐洲大戰終了し鐵價暴落の爲僅かに三ヶ月にて中止した同公司は曾て鑛石四萬噸を漢陽鐵廠に運輸し製鐵の結果成績甚だ良好であつたと云ふ

二、河北省の鐵鑛は滎縣の司家營張家莊吳家莊に亘り約三千二百萬噸支那民營で永平鐵鑛公司の所有なるも未だ採掘は行はれて居ないまた臨榆及び撫寧縣界に鶴冠山鐵鑛があつて埋蔵量七十二萬噸井經鐵鑛は五百萬噸の埋蔵量ありまた易縣の鐵鑛は百十萬噸と稱せらるゝも何れも操業はして居ない

三、河南省では修武縣に百萬噸の埋蔵あり鳳凰嶺鐵鑛は赤鐵鑛を産し鐵含有量四八、七%と云はれ同じく新郷には宏豫公司があるが未採掘沁陽縣の東北の紅砂沁堆鐵鑛では赤及び褐鐵鑛を産する武安縣の埋蔵量は百萬噸で紅山鐵鑛あるも未採掘である沁陽縣の埋蔵量は二百萬噸と云はれた民國二十三年河南地質調査所の調査の結果は盧氏縣の東魚港庫柏葉山鐵鑛及び伊陽縣龍王溝鐵鑛（伊陽域内十二支里馬蘭河東岸に東西約三支里幅約二里の鑛床あり地下一丈乃至二丈六〇%以上の良鑛にて土人の採掘するもの多し）を報告して居るなま鐵の採掘法は修武の宏豫公司は洋式設備をなせるも數年來停業中である他は全部土法に依るもので生鐵の年産額は一萬噸に達すと云ふ

四、山東省には臨淄長山新城縣境に金嶺鎮の鐵鑛がある日支合辦の魯大公司の所有で位置は金嶺鎮驛より北方七軒の地點で支線を有し山東第一の鐵鑛である産出狀態は石灰岩と閃綠岩との接觸部で鑛石は磁鐵鑛及び赤鐵鑛普通平均品位六〇%内外で露頭は灣曲してそれ〳〵劉魚山四寶山、玉皇山、團山、彭家官莊、鐵山等の名稱がついて居る鐵鑛が最大の埋蔵量を有し稼行されて居たが現在は停業して居る二千三百七十萬噸の埋蔵ありと云はれる此の外に南部費縣に費縣鐵鑛あり埋蔵量は六十萬噸に過ぎず交通も不便である

五、山西省に於ては二番名案含紀炭層の下底より赤鐵鑛及び褐鐵鑛が産する然し滿洲の様に一ヶ所に多量の埋蔵ある鑛床でなく薄く廣く散布して居るのを集めるので大資源たることが出来ない

土法製鐵は山西では非常に發達し就中平定晉城高等の諸縣最も盛んである平定縣の産鐵額は保晉を除き毎年約一萬噸あり井陘獲鹿石家莊地方一帯に販賣して居る晉城も鐵工業發達し洗鐵鍊鐵釘等年産額約三千噸に達して居る製鋼設備としては太原北門外に育丁鋼廠あり現在東北銅鐵廠に歸屬し日産二十噸の平爐一基であつたが百噸に擴張計畫がある山西省全省の一ヶ年の熔鐵産額は約五萬噸と見られて居るが西北實業公司是日産一六〇噸の製鐵工場を太原に設立する計畫ありと云ふ

六、綏遠省では固陽縣に七十萬噸武川縣に一千萬噸の埋蔵ありと云はる武川縣白雲鄂博は綏遠庫倫間の大路上に當り綏遠城の西北約四百支里貝勒廟まで約三百支里は自動車路あり丁道衡氏の調査によれば赤鐵鑛及び磁鐵鑛及び褐鐵鑛は震耳系石灰岩中に散見するといふ鐵鑛石の含鐵量六七%で埋蔵鑛石は三千四百萬噸と丁氏は見積つて居る

固陽縣東南九十支里の邵不亥その東方の軍懷梁に鐵を産するが余り良質ではない固陽縣南二十支里の公義明村に低山あり地表より高さ七十米突長さ百米突幅四千米突の全山悉く磁鐵鑛を含む片麻岩より成り磁鐵鑛は約二分ノ一を占め七十萬噸に達する見込といはる又包頭の西北寒林包東なる若連圖溝薩拉齊の北老富舖附近にも鐵鑛を産し曾て採掘せるも現在では採掘し盡されてゐる清水縣柳青村には鐵質を豊富に含有する頁岩あり

七、陝西省及甘肅省 陝西省の鐵鑛として著名なのは維南鳳縣鐵山年産一、一五〇噸鎮安鐵山は赤鐵鑛を産し年額七〇〇噸山元值段八十四元其他長安縣南山にもあり製鐵法は總べて土法にて年産五千噸前後である甘肅省では成縣に隴南鐵廠あり一ヶ年二、〇〇〇噸の産出をなす

以上の外に支那には金銀ニッケル、銅、雲母、鉛、及び亜鉛、滿鐵鑛、タンタムステン、アルミニウム原鑛などがあり非金屬鑛物資源として硫黃天然曹達石膏、明礬、螢石硝石、滑石、重晶石、寶石などがあるが省略する事にす

### 北支資源開發の實際問題

元來北支は種々の點から世界列國の注目を惹いて居るのであるが今次の支那事變以來一層其感を深からしめて居る様に想像される即ち米國の態度や國際的動きを見る時は如何にも其感に打たれるのであるが畢竟するに北支には利權が多く擴つて居るとき其處に我

が國の接近するのが列國中には如何にも美望に堪へないと云つた様な向も有るのではなからうかそれ故に我が國は對支關係に於て國際間に困難な立場となる事が多いのであらうと考へられる斯様に考ふる時北支を見るに前に述べた通り原始的生産物は極めて豊富であつて量と質とに於て世界に誇るに足る石炭の埋蔵石油鑛鐵の山或は農産物食品農産工業原料品等枚擧に遑がない程である之等は鑛業方面に於て未だ調査されずに放置され或は未開發の儘に過ぎて居るのである此時一度踏査を進むる時は必ずや新たに發見されるものも決して少なくないであらうと察せられる、斯くして寶の持ち腐れとなつて居る北支の寶庫が事變後に於て吾人の手に依つて開かれるれば、工業原料に乏しくて其れを渴望せる我が國の如きは之れが供給を受けてそれを使用することが出来ると云ふことになる而して北支地方は實に鑛物資源に富んで居る上に農産資源も又豊富であるから實に支那に於ける原料品の寶庫と云へるのである世界注目の的となるのも當然である今後北支の鑛業及び農業方面は其開發及び指導宣敷を得るならば其處に産する各種の資源は實に無盡藏であると云つても誇張の言ではないと考へられるしかも又北支地方の住民は一般に生活程度が底ひのであるから此處に相當の重工業を起し鐵と石炭石油を結び付けてやるならば生産費の低廉と相俟つて鑛物資源の處理工場は立派に成立するであらう又農産加工業なども將來勃興し得るのである

斯様にして生産工場を創設するにも既設工場を擴張利用するにも先づ考へられるのは交通機關でこれには工場より既設鐵道迄新たに鐵道を敷設し一方道路を完成して兩者相俟つてやるならば容易に出来るのである多數の生産工場を此處彼處に設けて煙火的に着手しようとしてもこれは今日世界的鐵石炭の欠乏を訴ふる時代には到底出来ない仕事である又經濟も之れに供ないである此意味に於て北支の生産工業の開發に先づ少部分的に逐時發達するように進めねばならぬと思ふ斯くして開發したる石炭を以てそこで工場に費消されて得る製品は内地の日本製鐵會社や日本鋼管や三菱重工業などと相應呼してやるなればこれこそ鬼に金棒で鐵や石炭や石油の大問題は將來決して杞憂すべき者ではないのではなからうか

次に又北支は各種の資源に富んでは居るが眞に未だ之れが開發をされず又進歩した技術も應用されて居ない状態であるのは甚だ遺憾な事で現代世界の狀勢に於て實に不經濟極まること云はなければならぬそれであるから北支の斯様な状態は宣敷文明の進んで居る手近な我が國との握手に依つて産業上經濟上等の各方面から指導を受けて進歩發展を圖ることが捷徑であり且つ北支今日の急務であると云はなければならぬ一日遅れば一日の損である今回の事變を境界として斯様の事の實現を吾人は望んで止まないものであるが實際今日迄の北支産業の狀態では原料品は豊富にあつても之れを利用する工業は發達して居らず従つて其製品は支那自身の用途にさへ其

一部分の需要を充たすに過ぎず又鑛物資源の埋蔵量が巨額だと云はれて居つても其れが採掘されないのみならず適々採掘されてもそれが外人の經營であつたり又は僅かに自國企業があつても其鑛石が精練利用されることも少い様な有様で誠に幼稚な産業状態と云つてもよいのであるされば斯様な北支を開發して資源は此れを利用し農産物は之れを改良發達せしめるならば北支住民の所得は自然増加し購買力が充實する様になるのは明白の理であるそうなれば北支に於ける貨物需要の増進するのは當然であるのみならず産業上に必要なる材料品は自國では間に合はないのであるから外國品の輸入に待たなければならぬ事になるので自然手近な我が國から輸出供給をするのであるそして其の代りに工業の發達せる我が國では北支から工業原料を買い入ると云ふ様に連絡を保つならばこれこそ北支と我が國とは共存共榮の關係に置かれ北支の産業と對日貿易とは必ずや發展し吾人は明朗北支を實現することが出来るのである而して前述の通り北支に於て漸時工業地帯を現出するにしても之れは資本系統は必ずや日支合辦を必要とするのである今日將介石政權の植え付けた多年の抗日毎日は今回事變終了と同時に決して消滅するものではない此誤れる思想を順時立て直して行くには尙相當の長年月を要するのであるこの事については末項に述べるも要は眞の日支提携は殊に利益に富んだ支那人を相手として經濟的に握手して共存共榮の實を擧ぐる様にするのが最も捷徑であるのである

翻つて我が國の現状を見るなれば國土狭小であつて年々増加して止まない過剰の人々を入れるには段々陝隘を告げる状態となり工業は發達したが之れに要する原料には頗る乏しいので困つて居る然るに北支は土地廣大で人は少い方ではないがそれは山東と河北の兩省に多いと云ふ丈で他の山西綏遠察哈爾の三省は少く又氣候は大陸的で變化の度が比較的大きいと云ふ者の吾人が住むには一向差支へはないのであるしかも滿鮮とは地続き我が國の本土とは黃海を隔て、近く相臨んで居るのであるからどうしても北支は我が國と提携して之れまで放仕されて居る天恵の資源や其他の産業を開發して原料の利用や輸出を盛んにするようにしなければならぬ之れは自然の理であると考へられる今日までは此自然の利に叛いて居つたから北支は發達しなかつたと云つても過言ではあるまい

況んや北支が日本と提携する日は即ち北支が幾十年の永ひ間苛欲誅求を之れ事とした北支軍閥の惡政から脱却して明朗北支の空が仰ぎ得られる時であるがそれは今や事變を機としてそれに近きつゝあるので斯くしてこそ我が日本が優秀なる國民と産業資本とを送つて將來北支と眞の提携をなし握手して行けるのである

### 結 論

今日日支事變は非常に進展し既に北支は殆ど我が軍の風靡する處となり一方南支に於ても既に首都南京を陥れ着々膺蹙の實を擧げ

つゝあるのであつて此時に當り我が政府は蔣政権を相手とせず臨時政府に向つて援助提携の實を擧ぐる重大聲明を中外に開明したのである吾人は事變の相當に永引くを覺悟せねばならぬ嗣つて北京天津の現状を見るとき恰も東京に於ける大震災の當時を想ひ起すの感があるのである事變でも止んでそれから除々に物資供給でも始めようなどは遅いのである最も輸送其他の關係で仲々容易ではないがやれば出来るのである北支八千萬人にて費消する者は莫大であるのである建築業者と云わず土木業と云はず盛んに北支へ進出せねばならぬ前述の通り此支の開拓は日本人の手に依つて行はれなければならぬ新政府を確信し之れと提携して支那の大改革をなすのである今回の事變を一大轉換期として眞の日支握手を斷行せねばならぬしかし之れは唯々事業貿易のみにて眞の提携は決して得られない者ではない要ば蔣政権の多年積へ付けた誤れる抗日侮日の志想を根本的に覆し新政權を晉勵體達して其國民の根本教育の一大刷新を計らねばならぬ茲に於て赤化思想を斷然一掃し之れを驅逐せねばならぬそして東洋道徳の根源である日本精神を吹き込まねばならぬと思つたのであるこれが爲めには學校教育にも日本語を教ゆる様につとめる又なるべく多數の北支留學生を日本に送るも可新政權には軍事顧問、實業顧問、經濟顧問、政治顧問の外に教育顧問を必ず設置の必要がある事がやがて眞の日支提携の根本をなす事と感銘せねばならぬのであるそして又一面北支を指導する日支兩語を含む一大言論機關たる大新聞を新首都に創設するのは北支を善導する上に於ても果又提携上にも極めて重且つ大なる役割をなす事となるのである之れは我が日本としては相當の犠牲を拂つても必ず實現したいのである斯くしてこそ順時に北支を明朗化し日支の精神的結合が行はれ東洋永遠の基礎が確立せられ平和が實現せられ日支親善の實が擧るのである

最後に述べて置きたい事は今回の日支事變が平和な終局を得ても相當莫大の經費を費つたのであるがこの跡始末に向相當莫大の經費を要するのであるかの滿洲事變の跡始末には十一億一千萬と云ふのであつた支那事變の跡始末がどれ丈かゝるか云ふ事は推測することは出来ない然し北支五省の治安を完全に確保し抗日戦線で訓練された中國共產黨員南京政府の便衣隊とか土匪などを絶滅するには相當莫大の費用が必要であると思ふのが至當で今回の事變が終局を告げても東洋に於ける戦争の危機が解消しない限り日本の軍事費は日支事變以前の軍事費までに逆戻りするような事は絶體に不可能であると思ふのは北支の完全なる治安確保の爲めにソ聯に對する限り日本の軍事的行動の範圍が従來のソ滿國境線から北支並に内蒙古にまで延長されたからである實際陸軍の國防充實五ヶ年計畫は昭和十二年度以降に實現されることになつて居り海軍も又第三次補充計畫を實施しようとして居るこの陸海軍の軍備補充は現在の情勢では當然の成行きであるがさらにこゝで考へねばならぬ事は今後の國防充實計畫には今度の支那事變で費消した軍需品の補充費

が含まれなければならないことである又事變で費消したものの必要な補給は單に軍需品のみではない北南支に於ける邦人權益の恢復のための費用も相當莫大な數字に上るとみなければならぬそしてその北支事業の復興工作對支貿易も又順調を缺ぐ様になればこれ等は結局國民經濟生活に對する大きな壓力となるわけであるがこの反面かゝる一般的な支出の増加はそれ丈勞働力並に物資の需用を増大する者として尤も此の支出が國民經濟力の負擔以上となつて悪性インフレーションに遂發展すると國民の經濟生活は相當困難となるのであるが政府は勿論をうした傾向は抑壓するための政策を考究することである事を附言して本項を終ることにする

昭和十三年三月五日發行

發行所

東京市麹町區車町九番地  
貴衆兩院情報發行所  
日衆兩院情報發行所  
編輯發行印刷人 永題谷利明

終